

保護者様

上尾市立瓦葺小学校  
校長 三上 義仁

令和5年度学校評価について

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。この度は、令和5年度学校評価のため、学校評価アンケートに御協力いただきありがとうございました。自己評価及び学校関係者評価の結果がまとまりましたので、御報告いたします。

1 自己評価



2 学校関係者評価 (令和6年2月16日 学校関係者評価委員会を開催)

(1) 学校生活アンケート (児童・保護者) についての説明

<児童>

○昨年度に比べ、20項目中16項目で「できている、だいたいできている」と答えた児童の割合が向上している。

○昨年度を下回った項目が「くつのかかとはそろえている」と「先生や友達に進んであいさつしている」の2項目であった。あいさつについては、保護者からも頑張してほしいという意見をいただいております、あらためてすぐに指導を行っていきたくと考えています。

<保護者>

○昨年度に比べ、15項目中10項目で、肯定的な回答の割合が向上している。

○わずかであるが昨年度を下回った項目が、「子供たちの優しさ、思いやり」、「教材費や校外学習等の係る経費」、「相談等への教職員の対応」の3項目であった。「優しさ、思いやり」については、優しさや思いやり、感謝の心を育てるように、家庭の協力も得ながら、道徳の授業をより充実させること、学級経営の見直し等の対策を講じて高めていきたいと考えています。経費については、できるだけ安く抑えられるよう考えながら教材の購入等を行っているが、物価高騰の現状もあり、保護者の方に負担感を与えてしまっているのではないかと考えています。教職員の対応については、常に丁寧な話を聞いて、真摯な対応を心がけていることに間違いはない。しかし、結果を受け止め、今後はより丁寧に対応し、御理解、納得していただけるよう努めていく。

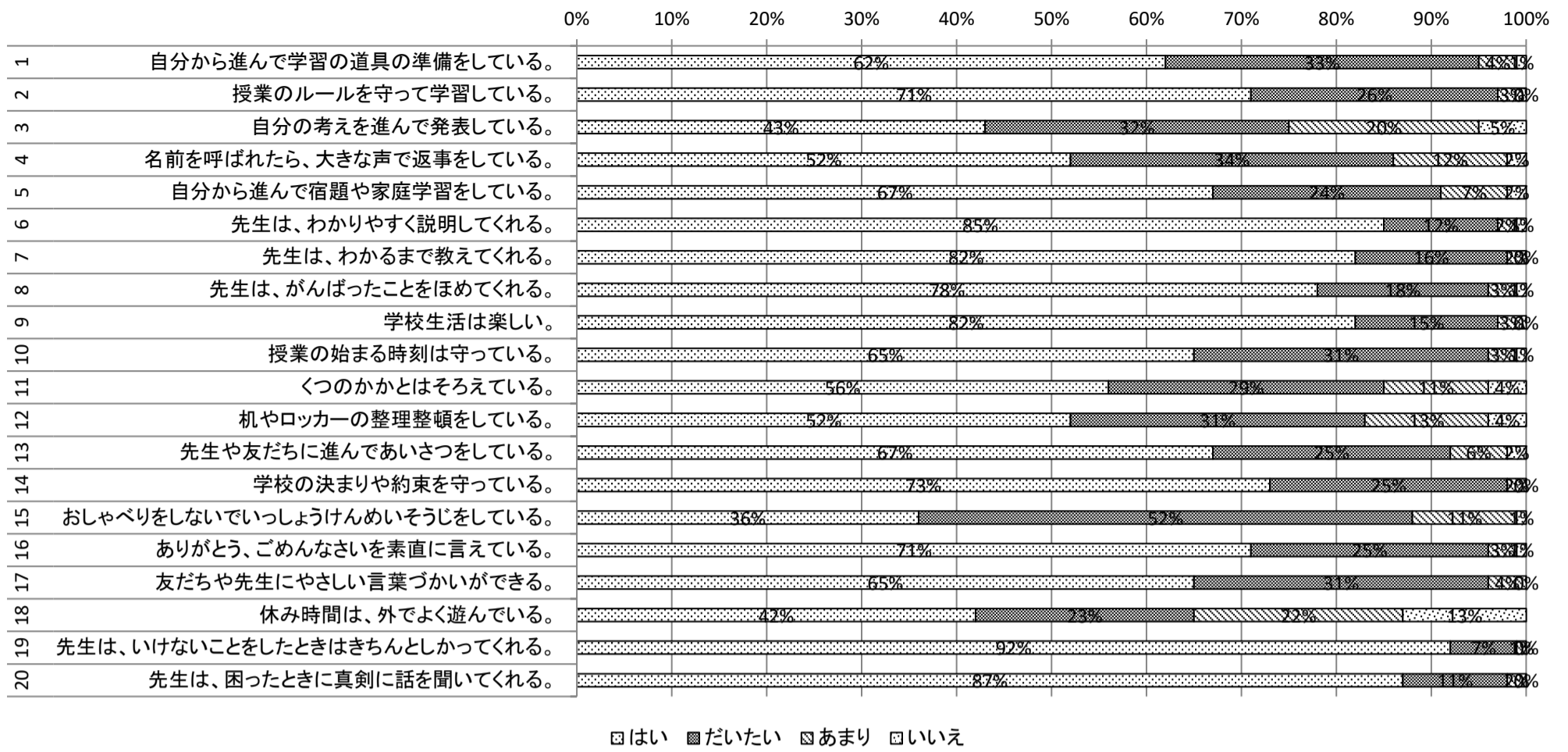
(2) 意見

○子供たちのふだんの様子を見ていると、高評価となったアンケート結果の根拠がよく分かる。

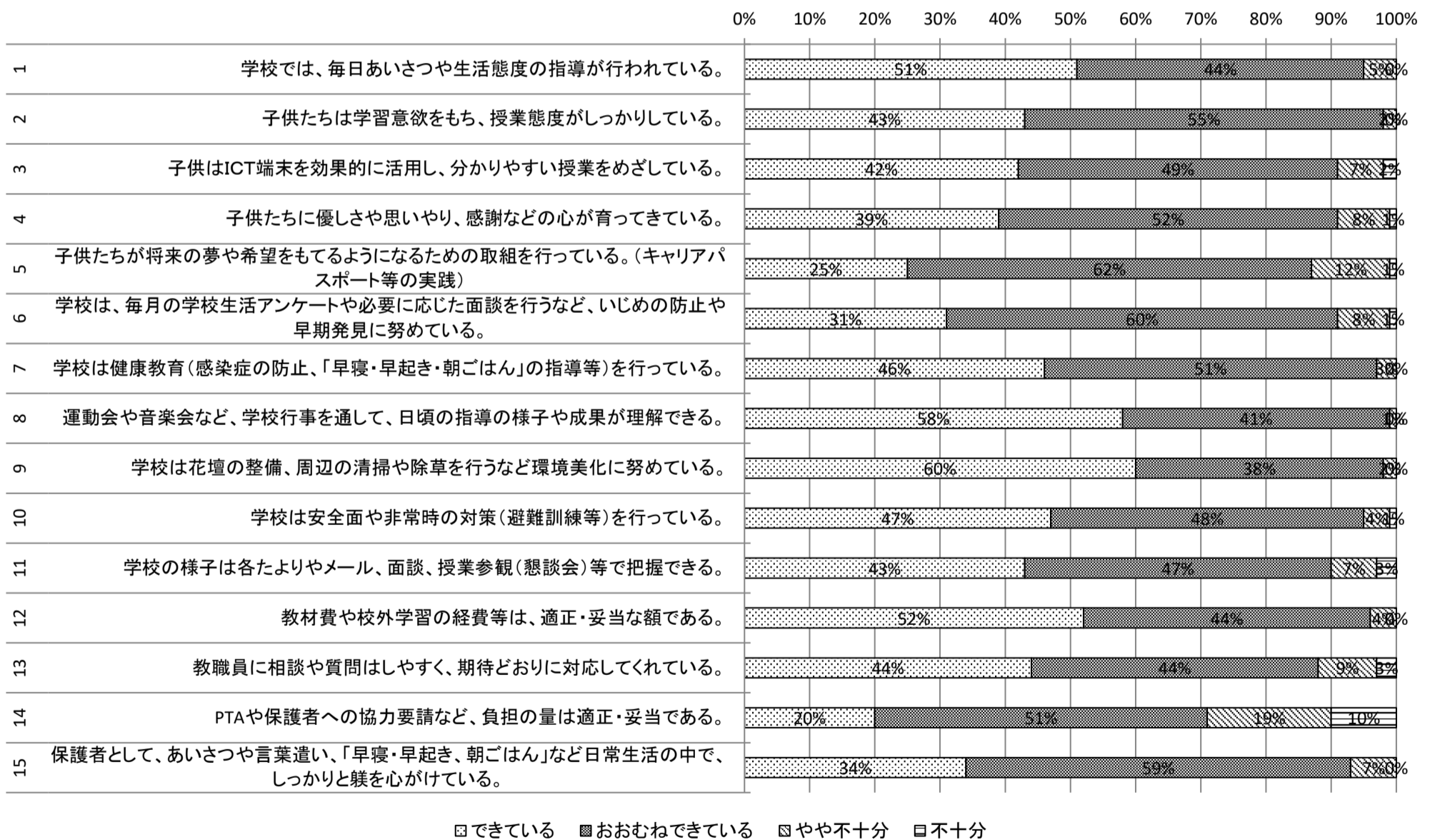
○教職員の自己評価において、体力づくりに関する項目が他の項目に比べるとやや低い結果となっている。しかし、放課後に校庭や公園で体を動かして遊んでいる児童が多くいる様子を見ると、決して体力づくりが行われていないということにはならないのではないかと考える。

○ICTの積極的な活用を求める声が多いが、学習においては紙と鉛筆のよさもあり、それぞれの利点を見極めながら活用していくのがよいと考える。

### 【参考】学校生活アンケート(児童)



### 【参考】学校評価アンケート(保護者)



#### 【記述いただいた御意見(抜粋)】

- 教員の業務負担軽減のためにも、もっとデジタル化を進めてほしい。学校からの連絡や学校への連絡も紙媒体である。さくら連絡網の活用等、デジタル化を検討してほしい。
- 子供たちのあいさつがもっと増えるとよい。
- 学校でパソコン端末をもっと積極的に活用してほしい。
- 学校の授業や宿題でICTの活用が増えてきているが、このことによる視力の低下が心配される。
- 少しずつコロナ前の生活に戻ってきていると感じている。その中で、給食は今も前向きで食べていると聞いている。感染症対策の一環であると思うが、子供たちが友達と一緒に楽しく食事ができるよう検討してもらえるとありがたい。
- PTA役員の負担を減らして欲しい。
- 学校にとって必要な費用はしっかりと市の予算を確保して実施いただきたい。
- 茸小まつりを復活してほしい。